金沢大学人間社会研究域国際学系（ドイツ学担当）公募要項

1. 職種及び募集人員：准教授または講師（任期あり：５年・再任（任期なし）は可）１名
　※　講師の任期は原則５年（引き続いた本学在職歴を有する者については、 当該期間を通算して10年を超えない範囲内での任期となります。）までですが、 任期中に審査を行い合格（再任）となればテニュアを付与します。
　再任審査事項
　１）論文発表、 学会発表、 研究資金獲得状況等の研究活動
　２）講義、 実習、 演習、 研究指導等の教育活動
　３）大学及び社会への貢献等

2. 所属：
（1）研究（教員）組織： 人間社会研究域国際学系
（2）教育（学生）組織： 人間社会学域国際学類（専任）
　大学院人間社会環境研究科博士前期課程 国際学専攻

3. 専門分野：ドイツ学（ドイツおよびドイツ語圏についての地域研究並びに現代社会に関する研究分野[環境・移民・ジェンダー・平和など]）
※人間社会研究域では、グローバル共生社会における連帯と動揺に関する学際的総合研究を研究ミッションとする「グローバル共生社会グループ」を形成しており、採用後は当該研究グループに所属していただくことになります。

4. 担当科目：
（1）学士課程共通教育：「ドイツ語基礎・実践基礎」（週2コマ）
（2）学士課程専門教育：「ヨーロッパ社会特論」・「異文化理解」・「現代ヨーロッパ社会論」・「研究演習」（以上、国際学類）、「ドイツ語読解基礎」「異文化体験実習Ⅰ（海外）（ドイツ）」「異文化体験実習Ⅱ（海外）（ドイツ）」（以上、国際学類・人文学類共通）
※「異文化理解」・「現代ヨーロッパ社会論」はオムニバス講義。
※年度によって「国際学入門」・「アカデミック・スキル」・「プレゼン・ディベート論」等も担当する場合がある。
※「異文化体験実習Ⅰ（海外）（ドイツ）」はドイツの協定校で行う語学研修のコーディネートや引率を含む。
※専門性に応じて人文学類のドイツ学関連の講義・演習や卒論演習を担当する場合がある。
（3）大学院博士前期課程：「ドイツ語圏特論」・「ドイツ語圏演習」
※「人間と社会の課題」・「異分野研究探査」等の科目を担当する場合がある。

※上記(1)～(3)の担当科目を英語で行っていただく場合があります。

5. 応募資格：以下の条件を全て満たすことが必要です。
（1）博士の学位を有すること（採用時までに博士の学位を取得見込みの者も含む）。
　または、それと同等の研究能力を有すること。
（2）国籍は問わない。ただし、日本語で授業、学生指導その他の業務ができること。
（3）採用後、金沢市又はその近郊に居住できること。

6. 応募締切日：2024年4月12日（金）必着

7. 採用予定日：2024年10月1日

8. 提出書類：
（1）履歴書（E-mail アドレスを記載のこと）

(2) 業績一覧（研究業績、教育実績、外部資金の獲得状況、社会貢献を含む。論文については査読の有無を記すこと）
※履歴書及び業績一覧はできるだけ本学指定の様式を使用願います。様式は以下のページからダウンロード可能です。
https://www.kanazawa-u.ac.jp/collegeschool/10_hs/outline/koubo.html
(3) 研究業績のうち、主要なもの５点（抜刷またはコピー可）
※単著または筆頭著者のものに限ります。
※研究書（単著・共著いずれも）で発刊予定のものは、出版社作成の校正原稿であれば提出を認めます。
※研究論文で未公刊だが、学会・研究会の掲載決定書類を付すことができるものはワープロ原稿の提出を認めます。
(4) 講義計画：「ヨーロッパ社会特論」のシラバス案（日本語及び英語。第１回はガイダンス、期末試験は第 16 回）
(5)今後の研究計画（1000 字程度）
※　選考中に追加の書類をお願いすることがあることをあらかじめご承知ください。

9. 選考方法：
書類選考の後、面接及び模擬授業をお願いすることがあります。その際に要する旅費等は、国内外を問わず応募者のご負担となりますので、あらかじめご了承願います。
国外に在住する応募者には、面接及び模擬授業を Zoom 等でお願いする場合も想定されますので、ご準備をお願いします。

10. 応募書類の提出先及び問い合わせ先
応募書類は JREC-IN Portal Web 応募または郵送にて受け付けます。

【JREC-IN Portal Web 応募の場合】
書類を全て PDF 化し、1 つの ZIP ファイルにまとめて JREC-IN Portal から Web 応募にて提出してください（提出書類(3)については現物のコピーを PDF 化したもののほか、出版社作成の校正原稿の PDF も可）。なお、単著書については、現物の別途郵送も可。

【郵送の場合】

〒920-1192　金沢市角間町　金沢大学人間社会研究域国際学系長
中野　涼子　宛
※「ドイツ学教員公募書類在中」と朱書きし、簡易書留で郵送してください。
※応募書類は原則として返却いたしません。特に返却を希望される場合は、必要額の切手を貼付した返信用封筒（宅配便の場合は着払いの送り状）を同封願います。

【問い合わせ先】
金沢大学人間社会研究域国際学系准教授　　南コニー
E-Mail: connie.minami@staff.kanazawa-u.ac.jp

11. その他：
給与については、国立大学法人金沢大学職員給与規程を適用します。国立大学法人金沢大学職員給与規程、就業規則等の詳細は、下記のＵＲＬをご参照ください。
（https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/administration/regulation/rules）
なお、年俸制を適用します。

※金沢大学では、教員の英語による教授能力の向上、英語による開講科目の増設等を前提とした英語教育の強化に取り組んでいます。
※金沢大学では、ダイバーシティ研究教育環境の整備を推進しています。詳しくは下記のＵＲＬをご参照ください。（https://ipdi.w3.kanazawa-u.ac.jp）
※人間社会研究域では男女共同参画社会基本法の趣旨に則り、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。また、人間社会研究域では、選考に際して研究業績及び資格に関わる評価が同等と見なされる場合には、女性を優先的に採用します。
※人間社会研究域では、女性研究者支援制度を構築し、女性研究者からの種々の相談に応じる体制を整備しています。